

令和4年

高松市教育委員会10月定例会

会議録(抄本)

10月27日(木)開会

10月27日(木)閉会

出席した教育長及び委員			
教育長	小 柳 和 代		
委 員	吉 澤 潔		
	葛 西 優 子		
	関 元 盛 夫		
	小 方 朋 子		
	富 家 佐 也 加		
欠席した教育長及び委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	森 田 素 子	文化財課長補佐	波 多 野 篤
教育局次長 総務課長事務取扱	長 谷 山 隆 義	総務課長補佐	香 川 昭 子
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	合 田 紀 子	総務課総務係長	別 所 里 美
学校教育課長	山 地 芳 樹		
保健体育課長	岩 佐 孝		
保健体育課主幹	栗 塚 仁		
保健体育課長補佐	山 下 裕 文		
生涯学習センター副館長	平 尾 智 亮		
中央図書館長	石 野 知 津		
総合教育センター所長	宮 脇 充 広		
I C T教育推進室長	西 村 福 和		
I C T教育推進室長補佐	西 山 英 希		
こども保育教育課主幹	久 保 優 子		
会議録署名委員	関 元 盛 夫		
事務局担当書記	岡 谷 有 紗		

【特記事項】 傍聴人1名

## 議 事 日 程（10月定例会）

日程第1 議案第29号 高松市歴史資料館等協議会委員の委嘱について

日程第2 報告事項

- 1 高松市生涯学習センター（まなびCAN）20周年記念事業について
- 2 高松市地域部活動検討委員会について
- 3 サンクリスタル高松30周年記念事業「第17回高松市子ども読書まつり 読書感想画展」等の入賞者の決定について
- 4 令和5年度高松市立幼稚園の利用申し込みについて
- 5 令和4年第5回高松市議会定例会答弁について
- 6 11月園長・校長・副校長研修会における実践事例研修「ゼロカーボンチャレンジ校の実践発表」について
- 7 「令和4年度全国学力・学習状況調査に係る結果の考察と今後の指針」について

【令和4年10月27日（木） 議 事 内 容】

---

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に関元委員を指名。

日程第1 議案第29号

議案第29号 「高松市歴史資料館等協議会委員の委嘱について」

文化財課長補佐から、高松市歴史資料館等協議会委員の委嘱について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

---

日程第2 報告事項

報告事項1 「高松市生涯学習センター（まなびCAN）20周年記念事業について」

生涯学習センター副館長から、高松市生涯学習センター（まなびCAN）20周年記念事業について説明。

<質疑>

○ 委 員 時々、こちらのInstagramを拝見しております。Instagramを開設

されたときからずっと見ておりますが、様々な取組をされているのがよく分かりますし、前向きに発信されていると感じています。インスタグラムを多くの方が見て、市民に広がるといいと感じました。

- 生涯学習センター副館長 我々は自治体なので、自治体特有の正確無比の情報はホームページに掲載し、インスタグラムでは興味を引くような面白いトピックスを発信していき、新たに今までまなびCANを利用されていなかった人にも来ていただける機会を作りたいと思っております。また、御高齢の方が学習されている姿を来館された高校生や大学生が見ることによって生涯学習の意義を感じていただき、御高齢の方も若い人たちが自主学習をする姿や新しい取組みに取り組んでいるところを見ていただくことにより、さらに様々な動機づけにさせていただけたらと思います。
  
- 教育長 夜間教室をこちらで月に2回開催しているので、時折来館するのですが、まなびCANの雰囲気は昔とは変わってきていると来館するたびに感じます。以前は、御高齢の方が講座に来られているというイメージでしたが、最近では若者の姿をよく見かけるようになりましたし、自主学習のために訪れている高校生や大学生もすごく熱心に勉強しているところを目にします。その姿を見て、若い人たちの来館者数が増えることにより、さらに活気が出るだろうと思いました。以前に比べて、雰囲気が変わりましたよね。
  
- 生涯学習センター副館長 はい。以前は高齢者向けの講座が多くなっていたこともあり、高齢者向けの施設のような色合いが強くなってきていたのですが、少しずつではありますが、館内でW i - F i を使えるようにしたり、夏休み等の長期休暇期間中の平日に自主学習ができる部屋を開放したりすることで、若い方が入りにくい施設だったところを若い方も入りやすい施設へと変えていきたいと考えています。おっしゃるとおり、若い方の御利用も増えていますが、以前から御利用になっていた方からも若い方が増えたことがとてもいい刺激になっているというお声も上がっておりますので、いい循環が行われていると考えています。今後も皆様の御意見をお聞きしながら、さらに様々な世代や属性の方々にご利用できる施設にしていきたいと思っておりますので、御意

見を頂戴できたらと思います。

---

## 報告事項2 「高松市地域部活動検討委員会について」

保健体育課長から、高松市地域部活動検討委員会について説明。

<質疑>

- 委 員 高松型の取組とありますが、具体的にどのようにイメージをしているのか教えていただきたいです。
  
- 保健体育課長 地域部活動は様々なモデルケース、様々な形があります。国が示しているのは、総合型地域スポーツクラブ等との連携という形ではありますが、本市の場合は総合型地域スポーツクラブの普及がそれほど進んでいない状況もありますので、まずは合同部活動という形で今年度は、牟礼中学校と庵治中学校の合同部活動を休日に行う地域スポーツ活動のモデルとして実践していきます。こちらのモデルを通して様々な課題等も出てくると思いますので、来年度に向かって考察・検証を行いたいと思います。また、合同部活動を踏まえて競技を増やす等、今現在ある合同部活動という形で高松型のモデルを探っていきたいと思っております。
  
- 教 育 長 解決しなければならない課題がかなり多い中、どのような部活動をしたのか、週末はどうしたいのかなどの子どもたちの意見や、保護者の意見も踏まえながら検討委員会で協議していく必要があります。また、先程高松型という話もありましたが、今の部活動の延長上に指導者を求めたとしても地域にはそれほど多くの指導者はいないため指導者の確保が難しいですが、それをどう解決していくかということについては、それぞれの学校や地域の実態や特性なども含みながら検討していく必要があります。

ると思います。

---

報告事項3 「サンクリスタル高松30周年記念事業『第17回高松市子ども読書まつり  
読書感想画展』等の入賞者の決定について」

中央図書館長から、サンクリスタル高松30周年記念事業「第17回高松市子ども読書まつり  
読書感想画展」等の入賞者の決定について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

---

報告事項4 「令和5年度高松市立幼稚園の利用申し込みについて」

こども保育教育課主幹から、令和5年度高松市立幼稚園の利用申し込みについて説明。

<質疑>

- 委員 利用申込要件の特別な支援を要する幼児の中で、1号認定を希望する幼児、  
2号認定を申請し保育施設等との併願を希望する幼児とありますが、1号認定と2号  
認定の説明がどこにも記載されていないのですが皆さんご存じなのですか。

- こども保育教育課主幹 保護者が保育の必要性はないと認めた場合は1号認定、保護者が就労等で自分では保育ができないため保育を必要としている場合は2号認定、満3歳児未満の子どもは3号認定となります。1号認定を受けるのは幼稚園と認定こども園の中の1号認定児になります。
  
  - 委 員 それはどこに記載されているのですか。
  
  - こども保育教育課主幹 10月20日に配布している幼稚園・保育施設等利用案内の中に記載しております。
  
  - 教 育 長 申込みの際には、保護者の方はそちらの御案内を御覧になれば、1号認定や2号認定の違いが分かるように記載されているのですか。
  
  - こども保育教育課主幹 はい。記載しております。
- 

#### 報告事項5 「令和4年第5回高松市議会定例会答弁について」

教育長から、令和4年第5回高松市議会定例会答弁について説明。

<質疑>

##### 【国旗・市旗の常時掲揚について】

- 委 員 学習指導要領に書かれているとおりでよろしいのではないかと思います。入学式や卒業式や運動会等では掲揚していますので、毎日掲揚しなければならないかと言われると、働き方改革のことや子どもの負担のことを考えると今のままでいいのではないかと思います。子どもには国旗や市旗、校旗また国歌について、伝えていくと



いうことをしていけばいいのではと思います。

- 教 育 長 おっしゃるとおり、入学式や卒業式の時には必ず式場には国旗や校旗が掲揚されています。市旗も各学校に配布しているので、掲揚することができます。運動会の際には国歌が流れ、保護者の方も含めて皆が国旗に注目する場面もほとんどの学校で見られます。
- 委 員 国旗も市旗も象徴的なものだと思うので、実態として何回掲揚するかや掲揚した回数等ではなく、高松市もシビックプライドに力を入れているので国際交流的な活動等を充実させていくのでいいのではと考えています。
- 委 員 国旗等を尊重することへの考え方を養うのは大事なことだと思うのですが、その目的を達成するために必ずしも国旗の常時掲揚する必要はないと思いますので、各校の実態に応じて、掲揚の取扱いを変える必要はないかと思います。
- 委 員 国旗と市旗を常時掲揚するという事は、高松市立の公立学校であるということの証明であり、プライドです。無理に子どもに国旗を掲揚させる必要もなく、雨だからといって降ろす必要もなく、翌日が学校の開校日であれば夜も降ろす必要はないと思います。休日のみ、今日は休校であるという意味で降ろしたらいいと思います。今日は開校日であり、そこに子どもたちがいるという意味で、また日本の国の学校であり、高松市立の学校であるという意味でも常時掲揚が必要であると思います。オリンピックの時は日の丸を皆で応援しますし、そういった国旗に対する気持ちは皆が持っているわけですので、国旗に対するプライドを小さい頃から教育していけばいいと思います。
- 委 員 常時掲揚することによってそのような意識を養うという面もたしかにあるとは思いますが、個人的には行事の時などの特別な時に掲揚するものという意識があったので、そういった形で子どもたちに大事にしないといけないものという意識を養うこともできるのではないかと思ひ、そういう面からも常時掲揚は必要ないのでは

ないかと思いました。

- 委員 個人によって考え方も異なり、強制はできないので方針として市が決めれば  
いいことだと思います。
  
- 教育長 学校に対して、教職員の働き方改革について何年も前から促してきているの  
で、少しずつですが超過勤務時間も減ってきているなど働き方改革を図れている中で、  
常時学校長に指導してきたことは、新たに子どもたちのためにしなければならないこ  
とはしなければならないが、今までしてきたことを当たり前だと思わずに削減できる  
ことは削減してくださいということと、行事の精選や教育課程の見直しも長きにわた  
り働きかけてきた経緯がございます。そんな中で、国旗や市旗や校旗を毎日掲揚して  
くださいという要求に対して学校側が快諾してくれるといいのですが、教育委員会と  
いたしましては、学校に対してこれまで促してきた働き方改革に対する指導の一環と  
しては矛盾しているのではないかという意見が現場からきこえてくるのではないか  
という点が、懸念している部分ではあります。国旗に対しても様々な考え方がござい  
ますので、地域の方からなぜ学校で国旗を掲揚しているのかと聞かれることや、雨が  
降っているときに国旗を掲揚したままにして国旗を粗末にしないようにとの御指摘  
があるそうで、難しい部分もございますので、教育委員の皆さまに、御意見をいただ  
きたいと思っています。国旗等に対して意識を高めていかなければならない  
ということは、大事なことであると思うが、日々の学校の中で、常時掲揚ということ  
についてどうするか、ということです。
  
- 委員 国旗や校歌、市旗について子どもたちが学ぶ機会は年間を通してどれくらい  
あるのですか。
  
- 学校教育課長 正確に何回というのではございませんが、入学式や卒業式、運動会が主  
なところになります。国際交流の場でも国旗掲揚されている学校は多いです。
  
- 委員 特別に国旗や国歌等についての意義を学ばせる、伝えていくということは大

事だと思えます。式典の時には国旗等が飾られてはいますが、子どもたちがどこまで理解しているのか分からないので、そのような意義などをもう少し丁寧に子どもたちに説明をして、日本国民として、日の丸が国旗であるということをきちんと学ばないといけないと思えます。掲揚するかしないかについては、働き方改革にも関わることなので常時掲揚する必要はないと思えますが、きちんと教えるということに関しては必要であると思えます。

- 教 育 長 今、国旗については大事な教育なので常時掲揚をしてはどうかという御意見をいただきました。他の委員さんからは、学習指導要領に則り、行事等の時に掲揚し、各学校が行事の意味をふまえて判断するというのでいいのではないかという意見が出ました。また、国旗等の掲揚の是非ではなく、国旗や国歌についての深い学習をしていくことが大事なのではないかという御意見を頂きました。今回いただいた御意見を踏まえて、今後教育委員会において学校に対してどういった方向性を示すかを検討してまいります。

#### <質疑>

##### 【デジタル教科書について】

- 委 員 思っていた以上に非常に使いやすく、デジタル教科書だけでもいいのではないかと思います。
- 教 育 長 本市でも来年度からのタブレットの持ち帰りを検討しております。英語の授業に臨む前に、子どもたちが事前に家で予習をしやすいのではないかと思います。授業を受ける前から新しい語句等の練習ができますし、語句の意味も全て出てきますので、家庭学習と普段の授業をどう組み合わせていくかが大事になってきます。これまでは、教員が授業内容を詰め込んでいたのですが、知識をある程度家でインプットすれば授業中にはアウトプットすることができ、交流の活動がかなり活発になるのではないかと思います。自分で様々な勉強ができるという点がいいと思えました。

- 委 員 デジタル教科書の使用が小学1年生からでは早すぎるとはいいますが、3歳児や4歳児の子どもでも、通信教育で配布されている幼児通信教育教材が導入されたタブレットを使用している子どもがいます。そういったものを使用している子どもと使用していない子どもでは差が出てきますので、小学1年生でタブレットの使用を始めなければその差が開くばかりです。そのため、入学時からこういったものを先進させて、頭が柔らかいうちにその差を縮めていく必要があると思います。
  
- 教 育 長 学校訪問に行くと、高学年では普段からよくタブレットを使っているのであろう子どもは、プレゼンの作成を次々と進めているのを見かけます。小学校に入学しても、既にタブレットの使用に慣れている子どもは容易に次の画面に進めていくことができるのだとは思いますが、一方で正しい鉛筆の持ち方やノートの取り方等の学習の基本との兼ね合いも大事になってきます。個人差はありますが、3年生ではタブレット上にそのまま指で書き込んでいる子どももいますし、ローマ字で入力をしている子どももいたりします。子どもたちは早くからタブレットに親しんでいるので、覚えることも早いのではないかと思います。
  
- 委 員 大人よりも子どもの方が慣れることが早いと思うので、小学1年生でも慣れるまでは大変だと思いますが、慣れればタブレットの使用については問題ないのではないかと思います。しかし、画面に書き込めること自体はいいことだと思いますが、書くことの大切さやノートの取り方、自主学習の積み重ね等も大事だと思うので、そのあたりの調和が気になるころではありますので、上手に組み合わせたいと思います。
  
- 教 育 長 デジタル教科書が出てきたときには、紙の教科書がよいのか、デジタルの教科書がよいのかという議論が交わされていたのですが、現在は発達段階によって比重は変わってくると思いますが、紙の良さとデジタルの良さを上手に組み合わせたいけばよいという議論が主流になってきています。
  
- 委 員 紙の教科書の費用は国の負担によって無償で給与されていると思いますが、

デジタル教科書の費用負担はどうなるのですか。

- ICT教育推進室長　今の段階では、まだその点についてははっきりとは示されていないのですが、令和6年度に関してはデジタル教科書についても無償で提供される方向性にはなっているようです。
  
- 教 育 長　一時期は全ての教科書がデジタル化されるのではないかという懸念がありましたが、今のところはまずは英語、次に数学や算数のデジタル化を検討していると聞いており、様子を見ながらになります。全ての教科書が一度に全てデジタル化されるわけではないと思います。
  
- 委 員　学校訪問の際に、デジタル教科書の使用について実際どうなのか聞いてみましたが、教師用の電子黒板でデジタル教科書を使用しており、子ども用のデジタル教科書をあまり使用している感じはなく、教科ごとの違いもかなり出てくるのではないかと思います。本日体験した英語のデジタル教科書は非常に効果的だと思います。しかし、ある学校では書写の授業で試行版のデジタル教科書を使用していたのですが、机に書道の道具等も出ているのでタブレットが机の上に乗らず、まずはデジタル教科書で書き順などを見ても結局はタブレットを片付けて書写をしていました。どの教科においても同じだとは思いますが、タブレットを置くことができる机の大きさに伴った教室の広さ等も検討課題になってくると思います。また、教科ごとの差が大きく出てくるのではないかと思います。そのような情報について、高松市でも可能な限り情報を把握していただけるといいと思います。高松市のICT教育推進計画についても見せていただきましたが、そこにはデジタル教科書については出てきませんでした。状況が新しくなり、先が見通せない状況になってきているので、情報収集と計画の修正というのは大事なのではないかと思いました。

<質疑>

【学校給食に低アレルゲン給食を導入する考えについて】

- 委 員 子どもによってアレルギーの種類は違うのですが、この7品目でおおよそアレルギーの90パーセント以上を除去できるということですが、一つの懸念は美味しくないことです。子どもが美味しくないと言って、給食離れに繋がらないといいと思います。美味しくできるのであれば、低アレルゲン給食を導入するといいと思います。アレルゲンについては個々の子どもによって危険度が異なるので、軽視していると大変なことになります。年齢が上がるとともにアレルゲンが減少することもありますし、耐性ができてはくるのですが、命にかかわることなのでアレルギーがある子どもを小学校に就学する前に早く見つけることも非常に大事なことです。アレルギー疾患に対する緊急対応については、教員で唯一許可されている医療行為なのでそれについての研修を受けないといけないと思います。学校全体で低アレルゲン給食となると、逆に少数派に全部がおかれている感じになり、個々の子どもによってアレルギーの種類も違うので、今日の給食にはこれだけのアレルゲンが入っているというのをきちんと栄養士がイメージできるような状況なのであれば、美味しく食べられる方が大事なのではないかと思います。
  
- 教 育 長 低アレルゲン給食を導入している箕面市の長所や短所をまとめていたりするのですか。
  
- 保健体育課主幹 長所といたしましては、全児童・生徒が同じメニューの給食を食べられること、教員の負担が減ったということがあります。短所としましては、パンには小麦が使えないので米飯給食が中心になってしまいますのでメニューが限られてしまい、洋食の回数が減ったということや、牛乳の代わりに豆乳を使うようになったことやカロリーをとるためにゴマを使用することが増えたことで、逆に大豆やゴマのアレルギーのある子は除去食の回数が増えたということがあります。
  
- 委 員 私も箕面市の現状をネットで調べました。7品目のアレルゲンを除去するということがありますが、それ以外のアレルギーを持っている子どももかなりいますので、完全にみんな同じ給食を食べるとするのはほぼ無理だろうと思いました。また、外国人の子どももいるので、ハラルの関係でお弁当を持参している子どもがたくさんいら

っしゃると聞きます。今の現状で、アレルギーのある子に対して栄養的なことを個別にきちんと指導していき、保護者とも情報共有しながら接していくのが一番いいのではないかと思いました。

- 教 育 長     アレルギーのある子への対応を何種類かしていると思いますが、お弁当を持参している子がいること以外にはどういった対応をしているのですか。
  
- 保健体育課主幹     主な対応といたしましては、教室で本人もしくは教員が除去するということと、使用食材がわかる献立表を配布させていただいておりますので、事前に使用されている食材やメニューを各御家庭で確認していただき、対応していただくということもあります。乳製品のアレルギーがある方については飲用牛乳を停止するなど、市内の栄養教諭が献立を作成して、3か月前に献立委員会に諮り決定させていただき、物資を決定していますが、そば、落花生、アーモンド以外のナッツ類、その加工品は使用しないようにしています。また、ひとつの献立に同一アレルゲンが可能な限り重複しないようにしております。練りもの製品については卵、乳、小麦不使用のものという対応を現在本市の献立では採用させていただいております。
  
- 教 育 長     わずかな量であっても、アレルギーの強い子はそれだけで命にかかわることがあるということで、献立表のみならず、成分表というものがあります。ドレッシングに至るまで何が入っているか成分まで確認している保護者の方、栄養士の方で協議しながら対応しているということも聞いたことがあります。今現在は、そういったことで本市は対応しているということです。
  
- 委 員     私の子どもも実際にアレルギーがあり、毎月その成分表も一つ一つ確認していますので、アレルギー対応食を作ってくると大変助かりますが、本当に様々なアレルギーがありますので、保護者の意見としては対応していただけるのはありがたいですが、そこまでするのは難しいのではないかというのが正直な感想です。
  
- 委 員     お弁当を持ってくる子どもと除去食を食べる子どもはそれぞれ何パーセン

ト位いるのですか。

- 保健体育課主幹 アレルギーがある子どものうちで、一部にお弁当を持ってきているのが小学校で約44パーセント、中学校では約23パーセント。除去食は、小学校約35パーセント、中学校では約21パーセント対応をしております。
- 教育長 1か月に給食が20回あるとしてそのうちの1回でもお弁当を持参しないとならない子が44パーセントという意味であり、毎日44パーセントいるというわけではないのですか。また、アレルギーがある子どもの中での割合ですか。
- 保健体育課主幹 はい。アレルギーの種類にもよるので、割合は高くなってきます。

---

報告事項6 「11月園長・校長・副校長研修会における実践事例研修『ゼロカーボンチャレンジ校の実践発表』について」

学校教育課長から、11月園長・校長・副校長研修会における実践事例研修「ゼロカーボンチャレンジ校の実践発表」について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

---



報告事項7 「『令和4年度全国学力・学習状況調査に係る結果の考察と今後の指針』について」

学校教育課長から、「令和4年度全国学力・学習状況調査に係る結果の考察と今後の指針」について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

---

午前11時11分 閉会

---

## 議決事項

「高松市歴史資料館等協議会委員の委嘱について」